

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2025(令和7)年
 7月末発行

● 関西広域産業共創プラットフォーム推進会議を開催しました

関西広域産業共創プラットフォーム（以下、「PF」という。）では、PF事業を効果的なものにするため、関西広域連合の広域産業を担当する大阪府・大阪市・堺市と公益社団法人関西経済連合会のトップが意見交換を行う「関西広域産業共創プラットフォーム推進会議」を開催しています。

会議では、事務局より、PF事業の令和4年11月からの実績や令和8年度以降の計画について説明を行い、出席者の委員の方々から様々なご意見をいただきました。これらのご意見を活かして、さらなる事業推進につなげてまいります。



会議中の様子



会議終了後の集合写真

● 技術課題 個別相談会

池田泉州銀行×関西広域産業共創プラットフォームを開催しました

昨年度も好評だった、「技術課題 個別相談会 池田泉州銀行×関西広域産業共創プラットフォーム」を今年度も開催しました。当日は、業種も様々な9社の企業にご参加いただき、PFの伊藤統括ディレクター、連携コーディネーター5名がご相談に対応しました。

具体的には、製造技術に関する課題や用途開発、製造工程の効率化・自動化など多岐にわたるご相談に対して、アドバイスや支援策の提案を行いました。

頂いた相談については、今後もフォローしてまいります。



池田泉州銀行



～事務局便り～

梅雨が明けるやいなや、記録的猛暑が連日続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。この猛暑の中でも、大阪万博は概ね順調に運営されており、日々多くの来訪者で賑わっているようです。8月26日から9月1日まで大阪産業技術研究所が大阪ヘルスケアパビリオンに出展されるなど、域内公設試の支援成果も展示されます。万博運営に関わる多くの方々、各パビリオンにおいて素晴らしいコンテンツとサービスを提供しておられる皆様に、心から敬意を表したいと思います。さて、コロナ以降に急速に普及したオンライン・コミュニケーションですが、この時期の猛暑や交通機関の混雑を回避するためにも、あらためてその利便性を実感しています。当プラットフォームは11の公設試をはじめ、多様な連携機関やアドバイザーの皆様等、多くの方々のご努力・ご支援で支えられていますので、なおさら頻繁な意思疎通が不可欠です。当プラットフォームでは、事業開始直後から「開発現場力」と「集団脳」の二つをエンジンとして活動してまいりました。オンラインを駆使した打ち合わせやブレインストーミングは、特に集団脳形成に有効です。猛暑の中ではありますが、オンライン上で形成されるクールな集団脳を活用して、質の高い顧客サービスを展開すべく、事務局一同さらに頑張っております。

(参考URL：大阪産業技術研究所 万博特設サイト) <https://e-n-no-shi-ta.jp/>

公設試発！News



研究発表会を開催します

奈良県産業振興総合センター

令和7年8月29日(金)に奈良県産業振興総合センターの研究発表会を開催します。奈良先端科学技術大学院大学松原教授による基調講演をはじめ、昨年度の研究成果10件の発表ほか、当センターの研究機器等の見学も実施します。

- ◆日時：令和7年8月29日(金) 13時00分～16時20分
- ◆場所：奈良県産業振興総合センター イベントホール
- ◆基調講演：奈良先端科学技術大学院大学 ロボットラーニング研究室 松原 崇充教授

「ものづくり現場を変革するフィジカルAI～最新技術動向と応用例～」

- ◆研究発表：昨年度研究成果10件 ほか

申込・詳細はこちら

<https://www.pref.nara.jp/ite/m/325150.htm#itemid325150>



成果報告会を開催します

兵庫県立工業技術センター

兵庫県立工業技術センターでは、令和7年9月4日(木)に開催される国際フロンティア産業メッセ2025において、成果報告会を開催します。

開催概要

- ◆日時：令和7年9月4日(木) 14:15～17:00
- ◆会場：神戸国際展示場 2号館3階 3B会議室 (兵庫県神戸市中央区港島中町6-11-1)
- ◆参加費：無料 (※ご来場には事前登録が必要です)

第一部 ひよご技術交流大会(14:15～15:45)

「兵庫のものづくりの強み～新製品・新技術が生まれる現場から～」

第二部 研究成果発表会 (16:00～17:00)

「自転車のカスタムメイドデザイン」

生産技術部 専門研究員 後藤 泰徳

「新規な自己修復バイオポリマー」

材料分析技術部 主任研究員 今井 岳志

「播州織の繊維廃材を原料としたナノファイバーの製造とその活用」

繊維工業技術支援センター 主任研究員 新田 恭平

「金属3Dプリンタ関連技術の事例紹介」

生産技術部 機械システムグループ 担当課長 平山 明宏

詳細はこちら↓

<https://www.hyogo-kq.jp/lecture/item3356>

ぜひ、ご来場ください！



日本化学会が発行する科学学術雑誌 (英文) に論文掲載されました！

和歌山県工業技術センター

和歌山県工業技術センターの研究員による論文が、日本化学会が発行する英文の科学学術雑誌「Bulletin of the Chemical Society of Japan」に掲載されました。

【発表題目】

Bicarbonate Salts as Useful Solid CO₂ Sources in the Carboxylative Cyclizations of 2-Aminobenzonitriles and Propargyl alcohols

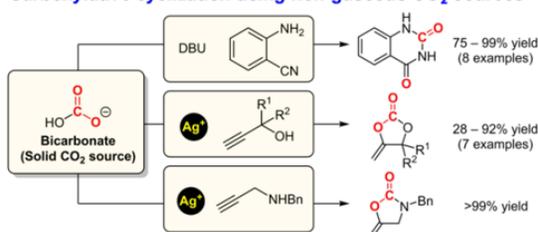
【掲載誌】

Bulletin of the Chemical Society of Japan

<概要>

この研究では、重曹などの炭酸水素塩を「固体のCO₂源」として活用し、有用な化学物質を効率的に合成する方法を開発しました。

Carboxylative cyclization using non-gaseous CO₂ sources



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.wakayama-kq.jp/news/2025/07/post-292.html>

走査電子顕微鏡を整備しました

(地独) 鳥取県産業技術センター

走査電子顕微鏡は、細く絞られた電子線を試料表面に照射し、表面から出てきた二次電子や反射電子を専用の検出器でとらえることで、試料表面の形状を観察することができます。

光学顕微鏡に比べて焦点深度が深く、立体的な画像を得ることができ、低倍率から高倍率まで様々な個体試料表面の観察が可能です。

電子線の照射により試料表面から放出される特性X線を検出するX線分析機との組み合わせで、観察領域の組成分析を行うこともできます。

皆様の新技術開発や品質管理等にぜひ活用ください。



走査電子顕微鏡 (SU3800、EDS検出器) の外観

※2024年度JKA補助事業で導入

※機器の詳細については以下をご覧ください。

<https://tiit.or.jp/search/293/>

